

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪商工会議所	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市永和2丁目1番29	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域・準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年10月10日
敷地面積	3,868㎡	作成者	秋吉 敏信
建築面積	1,748㎡	確認日	2018年10月12日
延床面積	5,298㎡	確認者	秋吉 敏信



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

音環境	3.0
熱環境	3.1
光・視環境	2.9
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	2.9
耐用性	2.9
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.2
地域環境	3.0
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	自然通風・自然採光を外壁面に多く取り、外構も植栽を多く、屋上緑化も採用して環境に配慮した施設づくりとしている。	その他 特に無し
Q1 室内環境	・自然通風、自然採光をとれるようにトップライト、外壁際の窓を多くとっている。 ・事務所部分はOAフロアとすることで変更対応しやすくなっている。	Q2 サービス性能 ・バルブの操作等、メンテナンスしやすい計画としている。 ・節水型器具を採用している。(節水便器や自動水栓等)
Q3 室外環境(敷地内)	・緑地や屋上緑化を設置している。	LR1 エネルギー ・LOW-eガラスの採用や、断熱強化、屋上緑化し、熱負荷を抑制している。 ・自然換気が可能なシステムの採用
LR1 エネルギー	・LOW-eガラスの採用や、断熱強化、屋上緑化し、熱負荷を抑制している。 ・自然換気が可能なシステムの採用	LR2 資源・マテリアル ・節水型器具を採用している。(節水便器や自動水栓等) ・フロムやハロンは使用していない。(屋内・屋外消火栓、ABC消火器のみ)
LR2 資源・マテリアル	・節水型器具を採用している。(節水便器や自動水栓等) ・フロムやハロンは使用していない。(屋内・屋外消火栓、ABC消火器のみ)	LR3 敷地外環境 ・敷地内に駐車スペース・自転車置き場がある。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0103

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪商工会議所						
	建設地	大阪府東大阪市永和2丁目1番29						
	用途/区分	事務所 集会所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.4	2	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	特に無し						